

IISORA福島シンポジウム2014

飯舘村や浪江町赤字木での 放射能汚染調査

＜飯舘村放射能汚染調査チーム＞

今中哲二
遠藤 暁
菅井益郎
市川克樹
林 剛平
沢野伸浩
小澤祥司



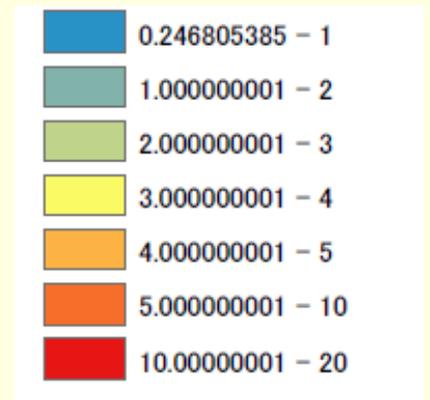
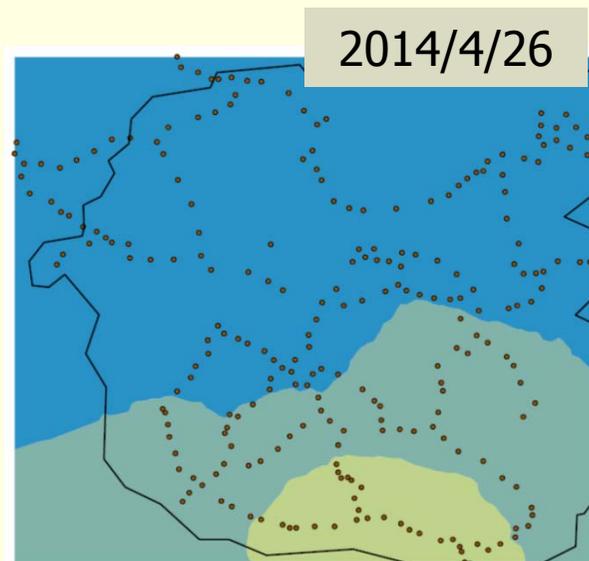
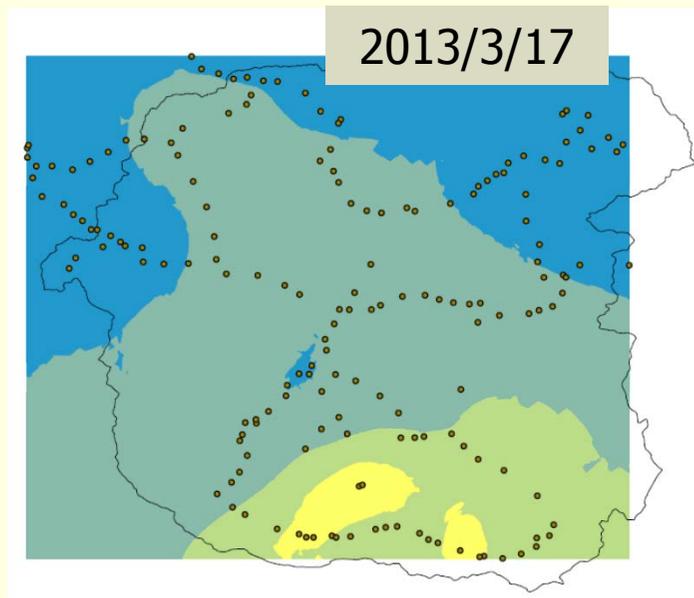
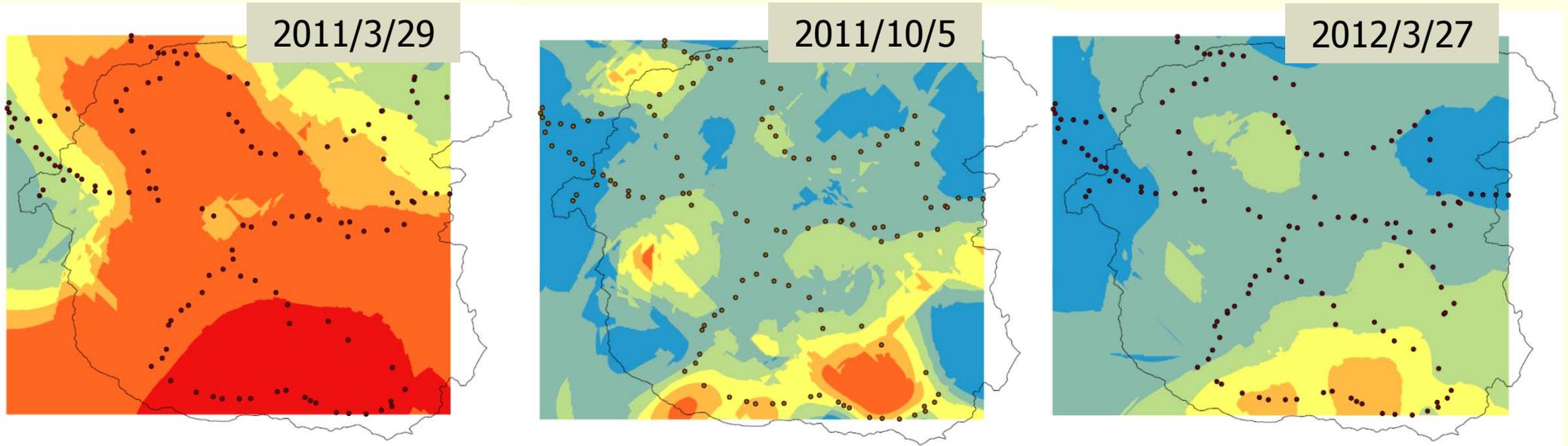
2011年3月29日 長泥曲田30 $\mu\text{Sv/h}$

2014年12月7日
福島県青少年会館

これまで飯舘村でやってきたこと

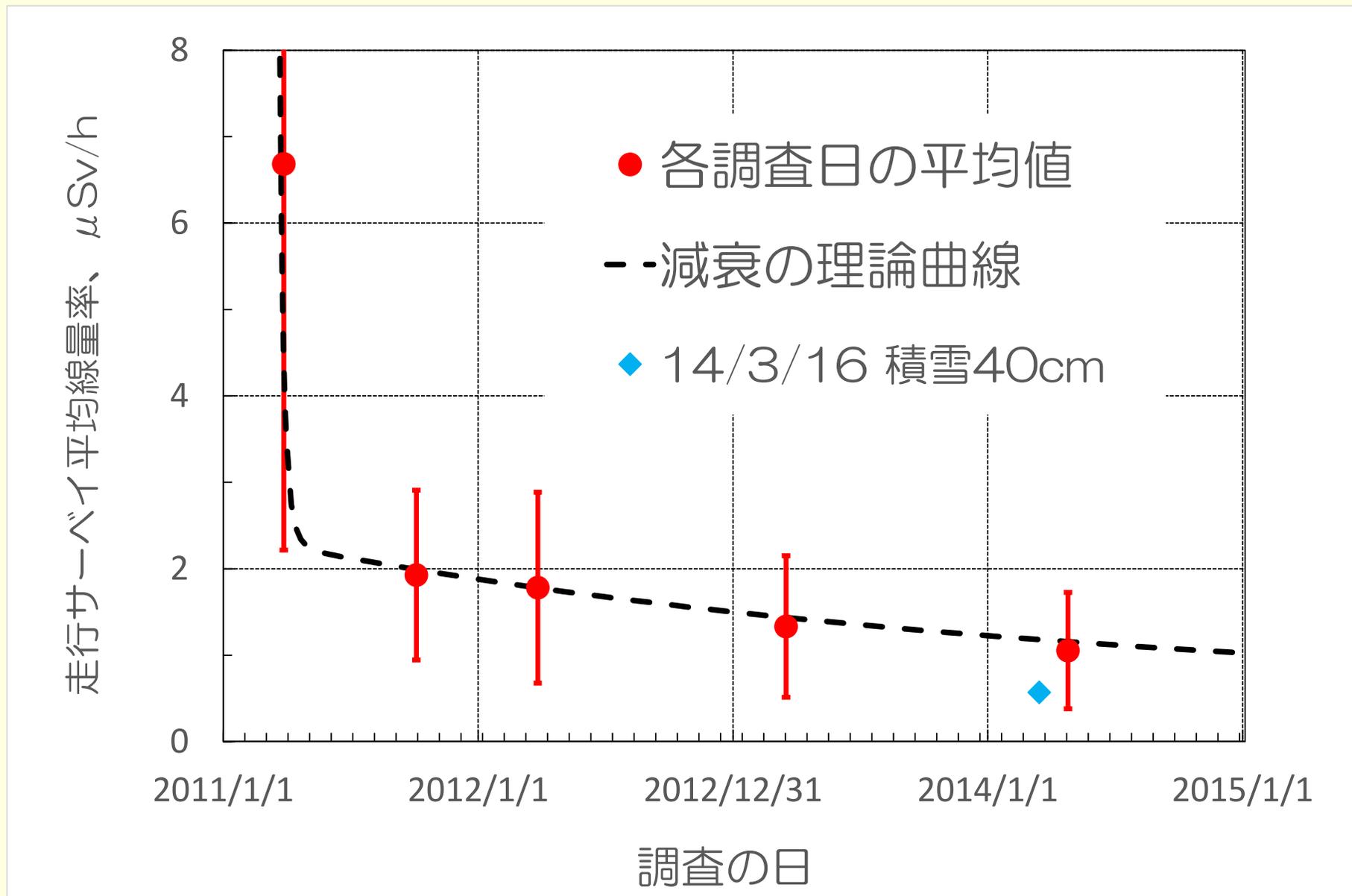
- 飯舘村全域の放射線量走行サーベイ
- 長泥地区の放射線量歩行サーベイ
- 飯舘村定点での土壌サンプリング
- 初期外部被曝評価プロジェクト
- いいたてふぁーむ空気サンプリング
- （赤宇木地区放射能汚染調査）
- その他

飯舘村の3年間の走行サーベイデータ 車内放射線量率の推移

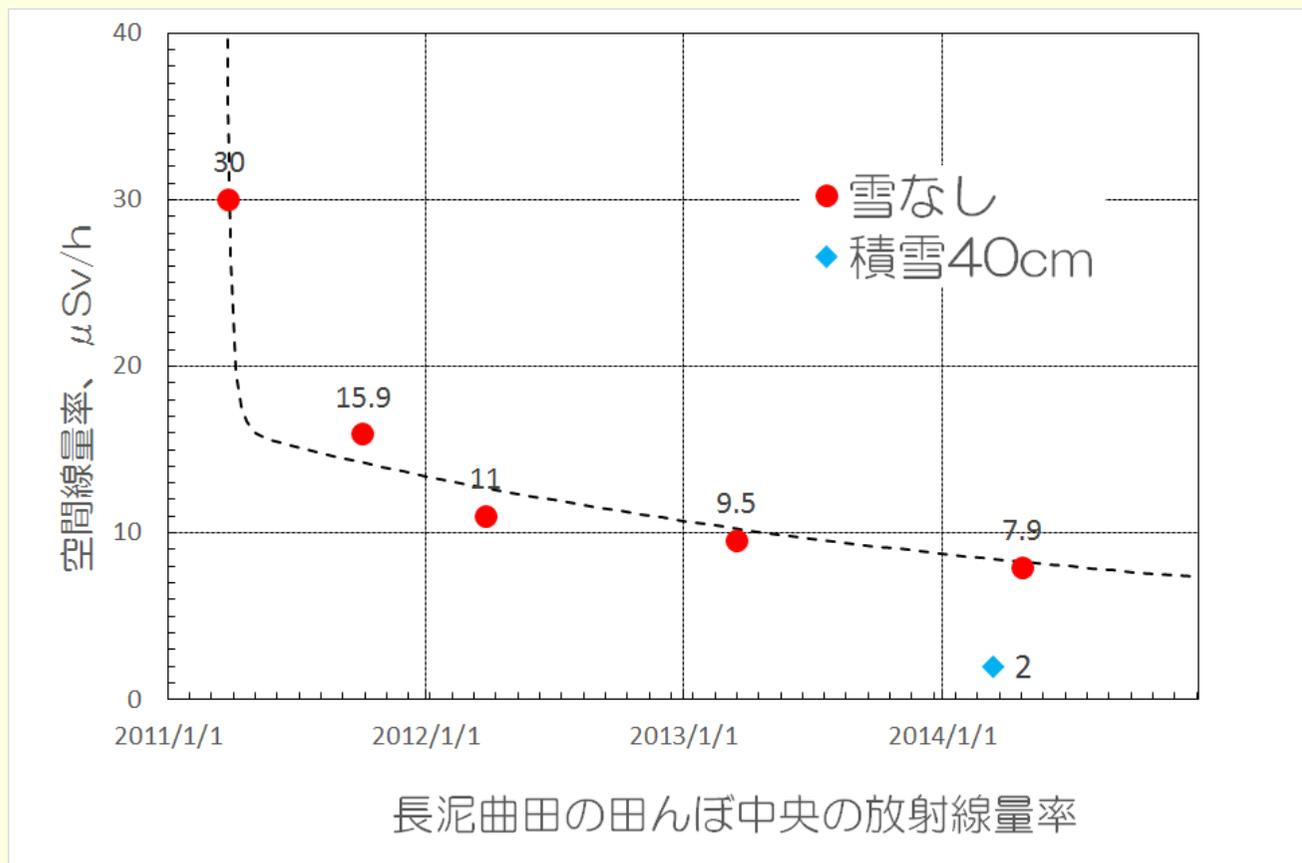


$\mu\text{Sv}/\text{時}$

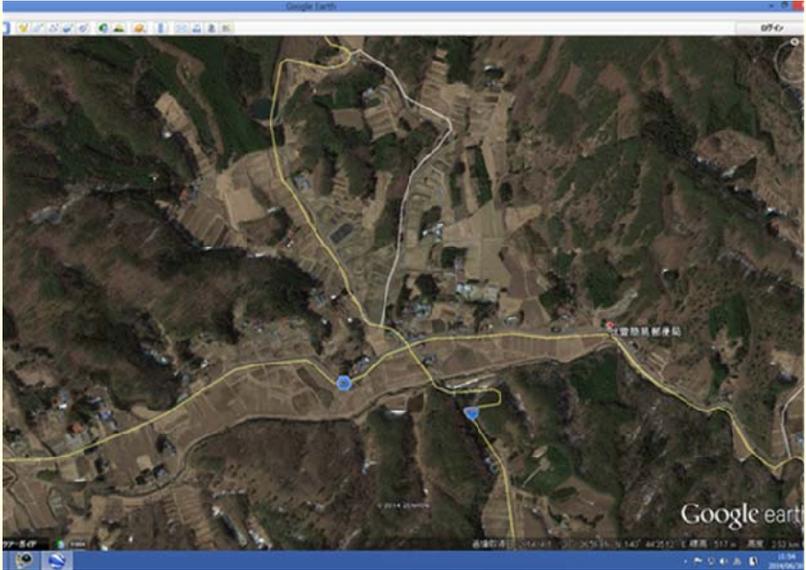
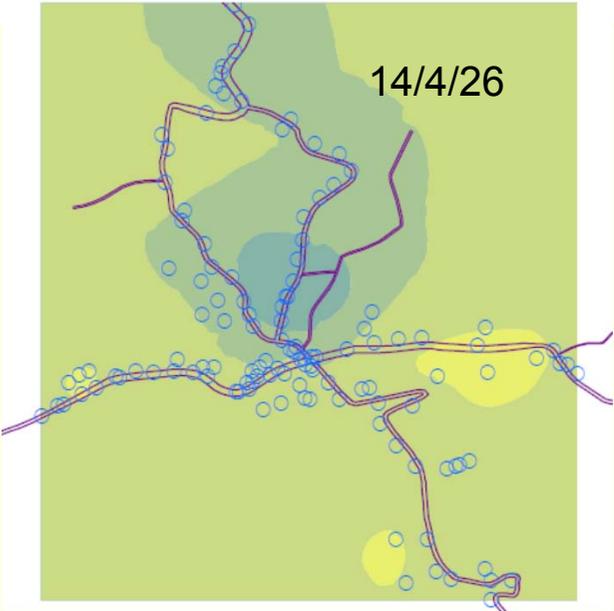
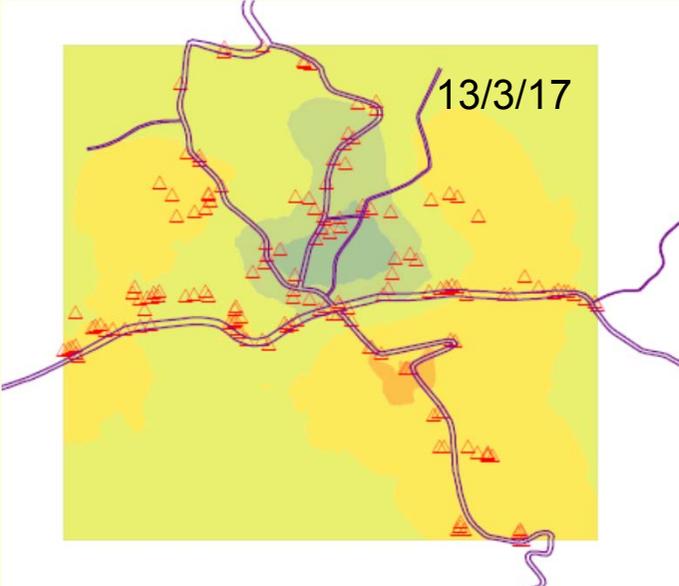
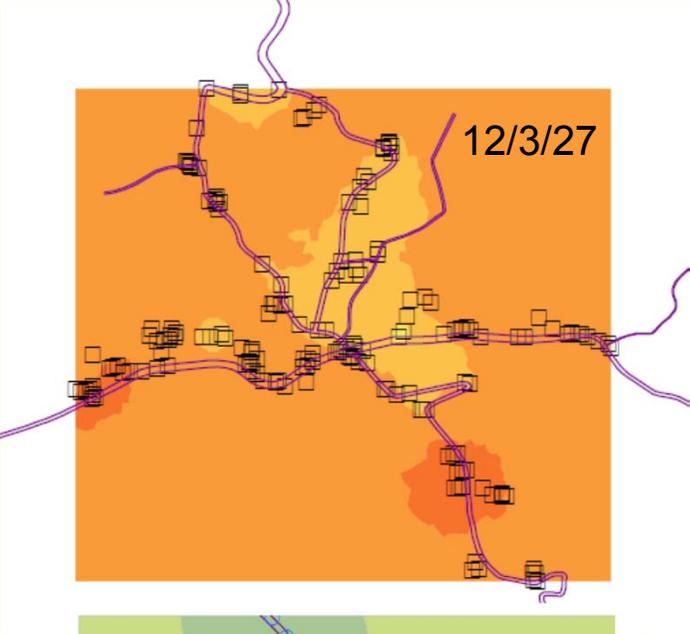
走行サーベイによる平均線量率の推移



定点観測：長泥曲田の空間線量率の推移



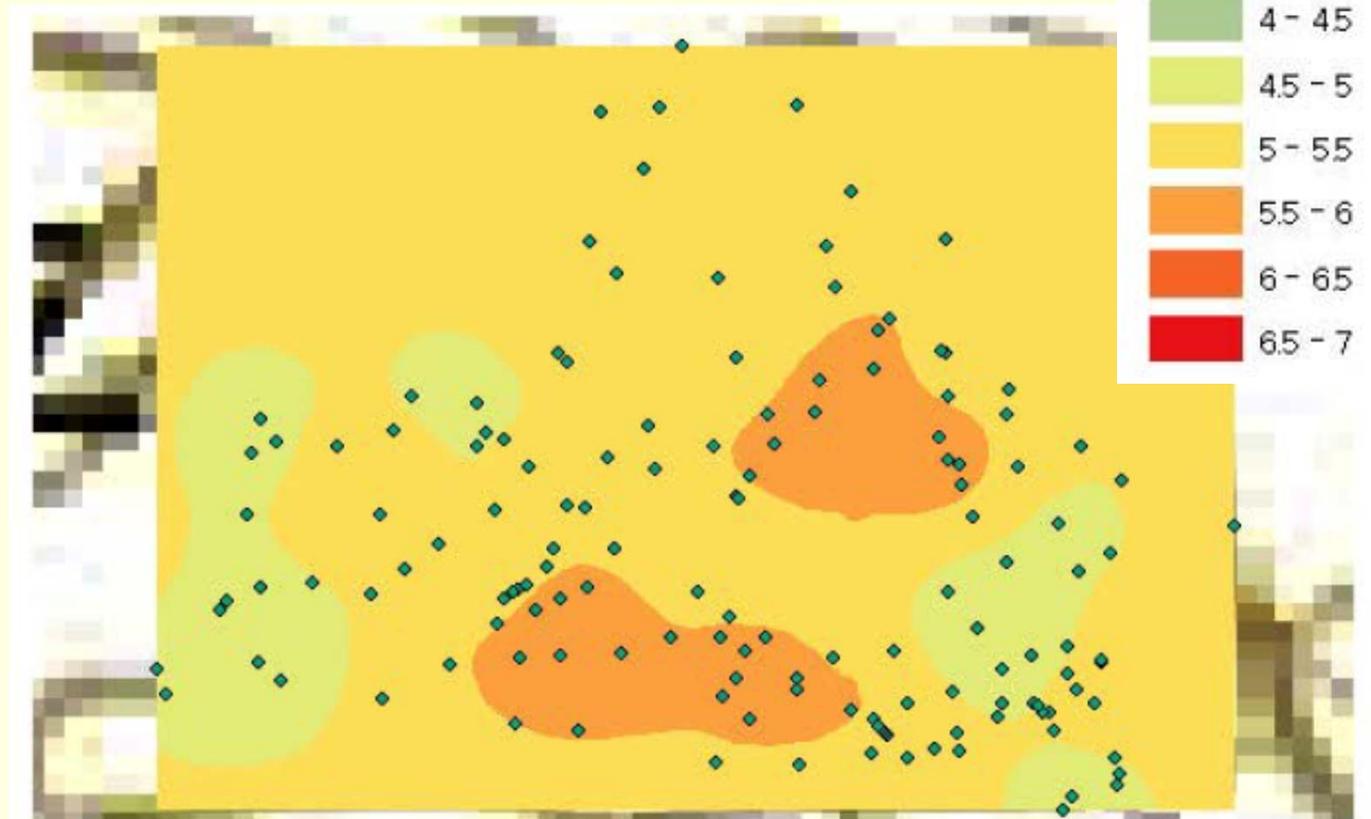
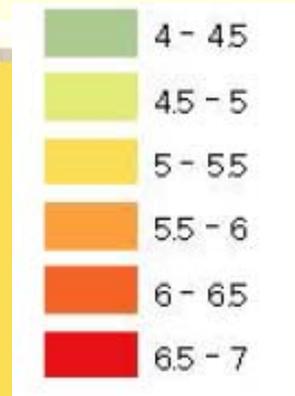
長泥十字路近辺歩行サーベイ



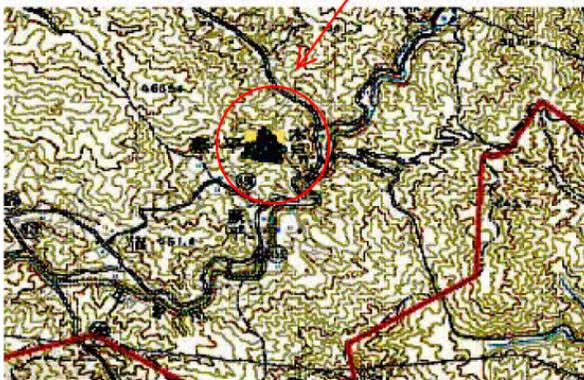
蕨平焼却場予定地歩行サーベイ 2014年4月27日



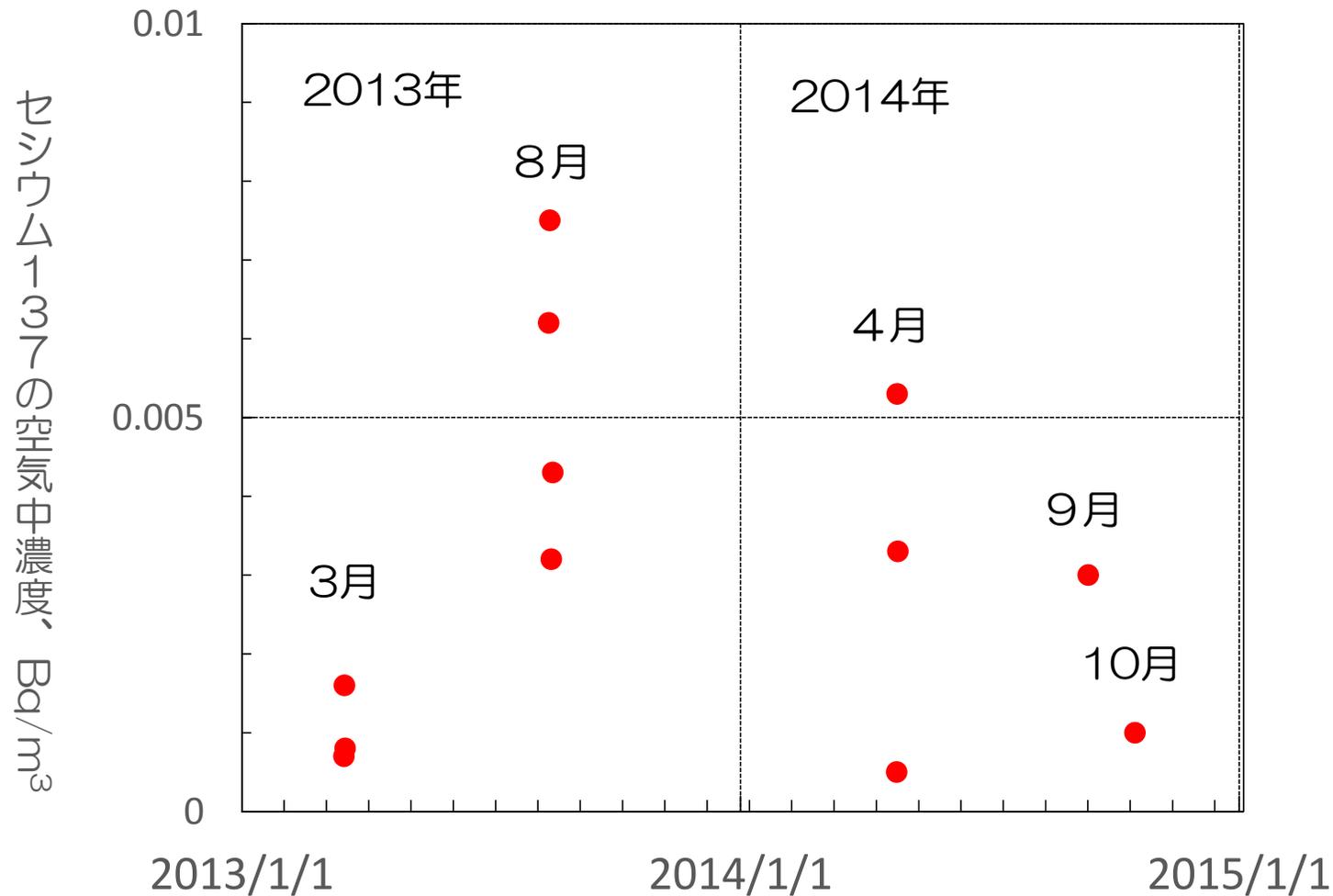
μSv/時



焼却場予定地



いいたてふぁーむでの 空気サンプリング測定



飯舘村初期被曝量評価プロジェクト

平成24年～25年度 環境省

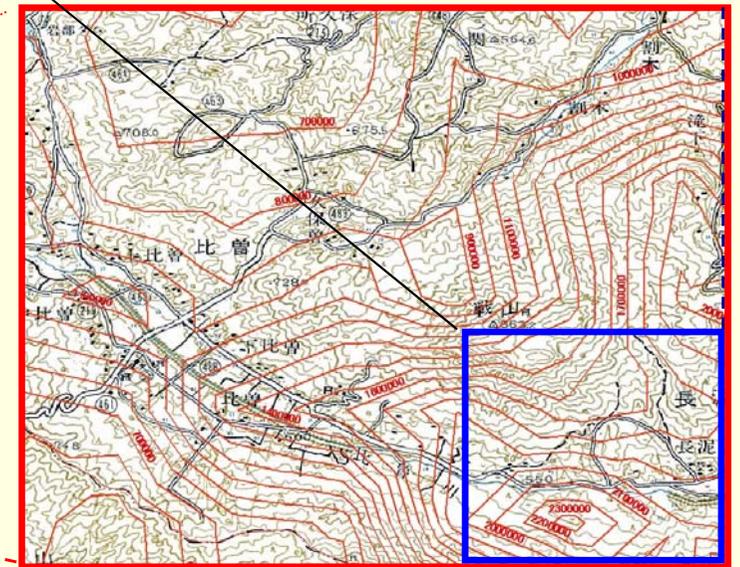
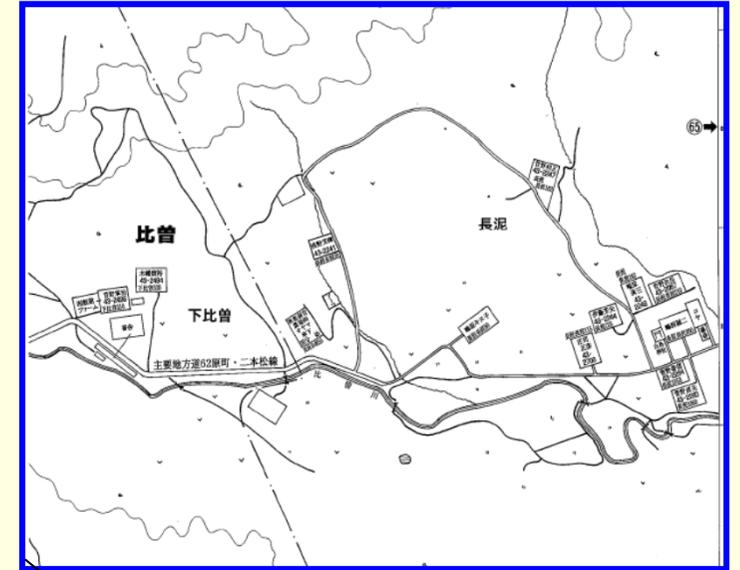
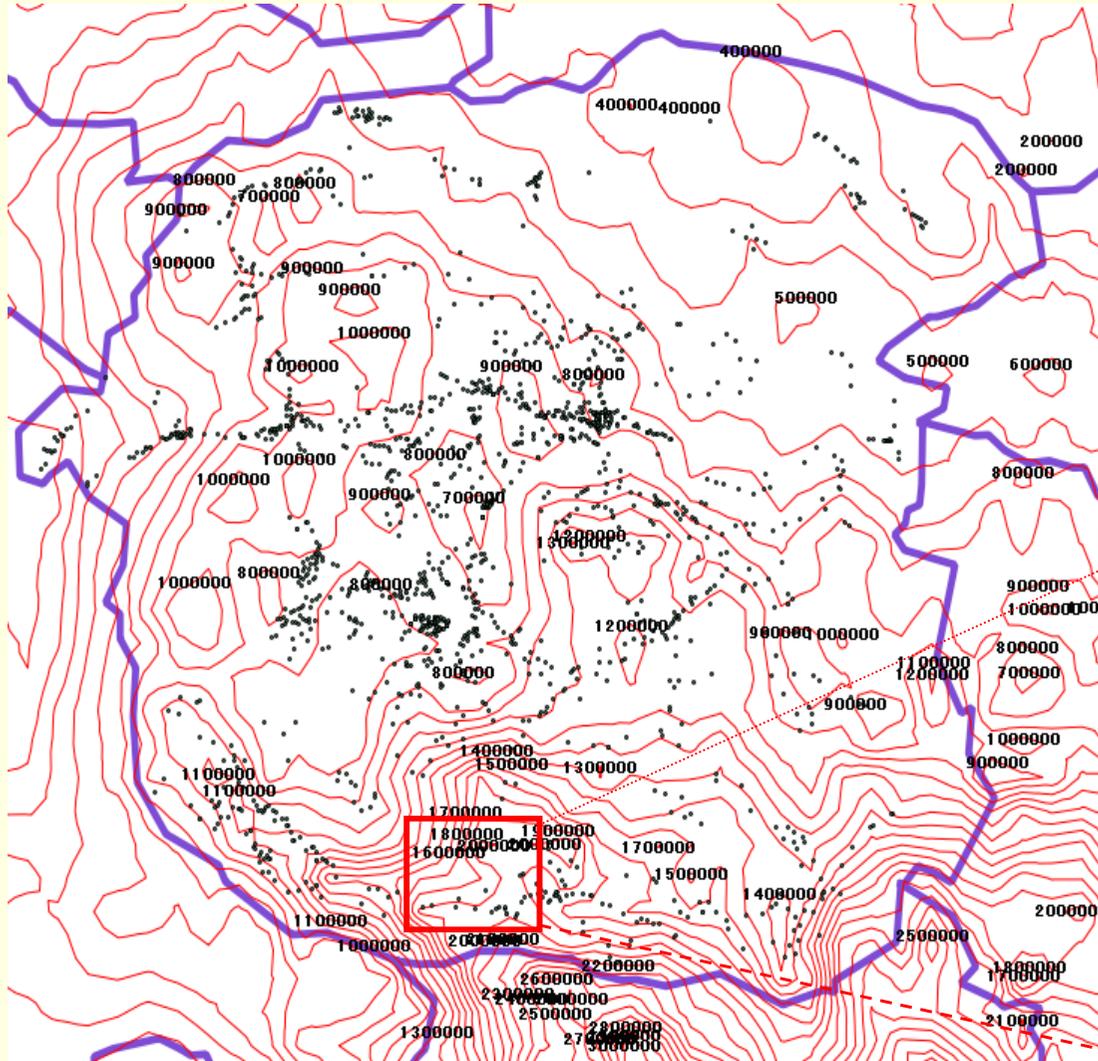
「放射線の健康影響に関する研究調査事業」委託研究

福島第1原発事故による飯舘村住民の 初期放射線被曝評価に関する研究

明石 昇二郎	ルポルタージュ研究所	佐久間 淳子	立教大学
家田 修	北海道大学	澤井 正子	原子力資料情報室
石田 貴美恵	ふえみん婦人民主新聞	沢野 伸浩	金沢星稜大学
市川 克樹	オフィスブレーン	城下 英行	関西大学
糸長 浩司	日本大学	菅井 益郎	國學院大學
上澤 千尋	原子力資料情報室	那須 圭子	福島から祝島へ ～ こども保養プロジェクト
浦上 健司	日本大学	庭田 悟	ルポルタージュ研究所
遠藤 暁	広島大学	畠山 理仁	フリーライター
大瀧 慈	広島大学	林 剛平	東北大学
小澤 祥司	NPO 法人 EAS	振津 かつみ	兵庫医科大学
川野 徳幸	広島大学	渡辺 美紀子	原子力資料情報室
鬼頭 秀一	東京大学		
佐川 よう子	福島事務所専従		

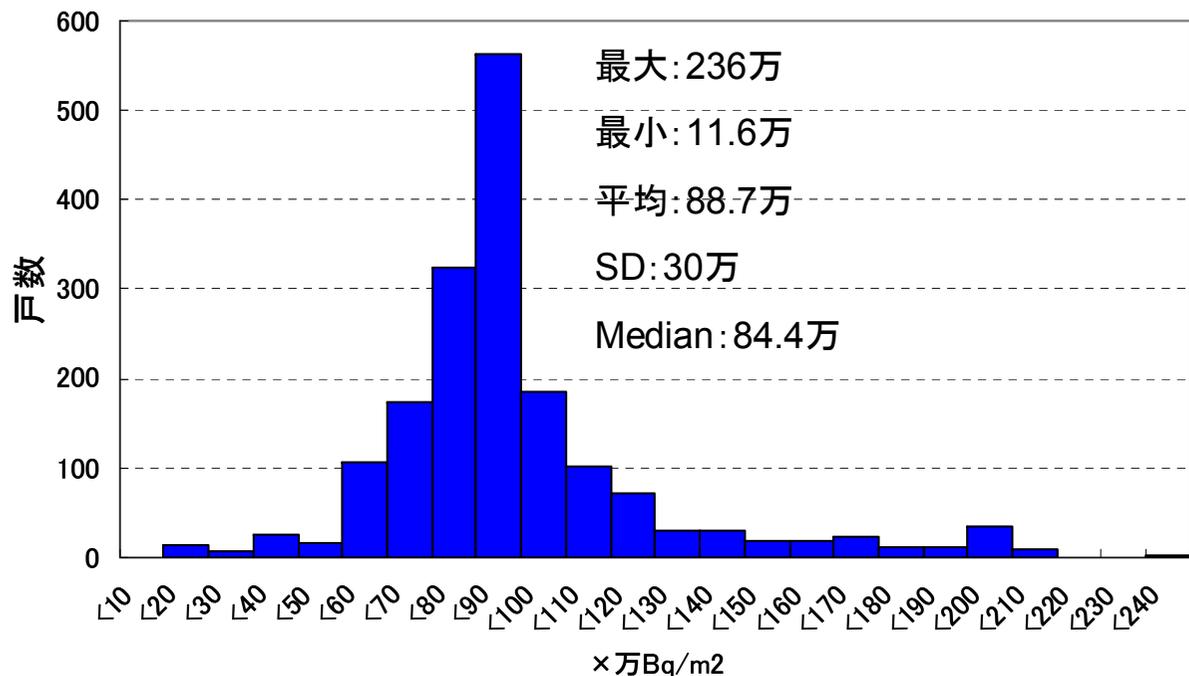
(50音順)

米国NNSAの空中サーベイデータの用いた Cs137沈着量マップ

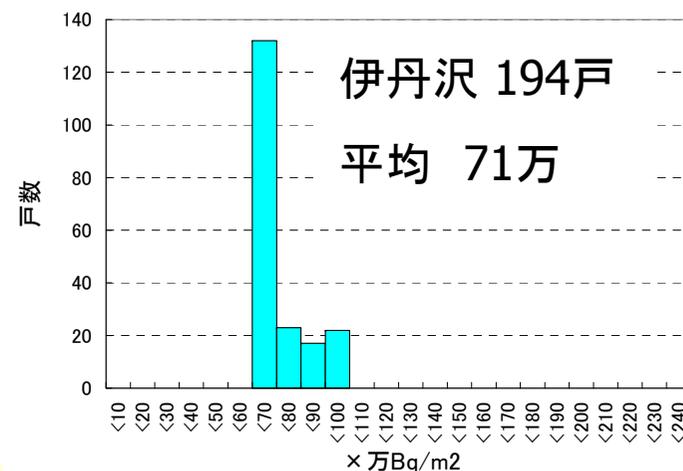
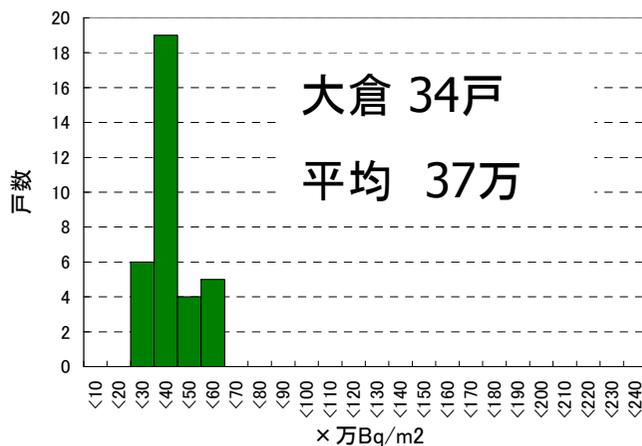
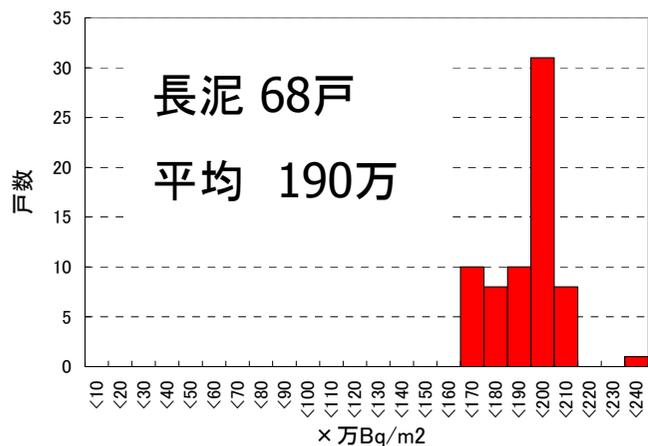


NNSAデータに基づくセシウム137沈着量
コンタと住宅の位置

飯舘村各地区でのセシウム沈着量分布、 Bq/m²

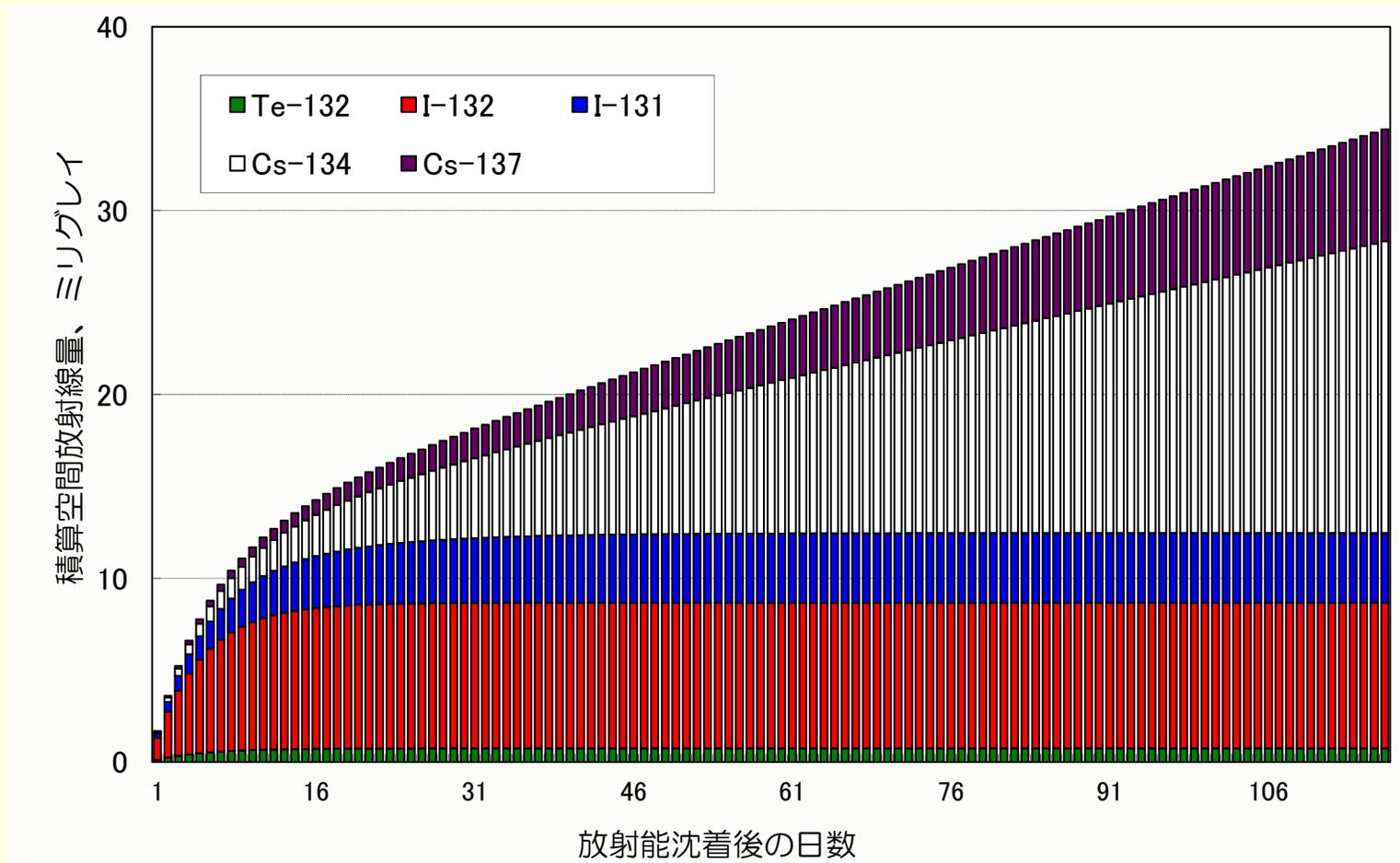


セシウム137沈着量ヒストグラム NNSA: 飯舘村全域 1768戸



積算空間線量率（地表1m）の計算結果

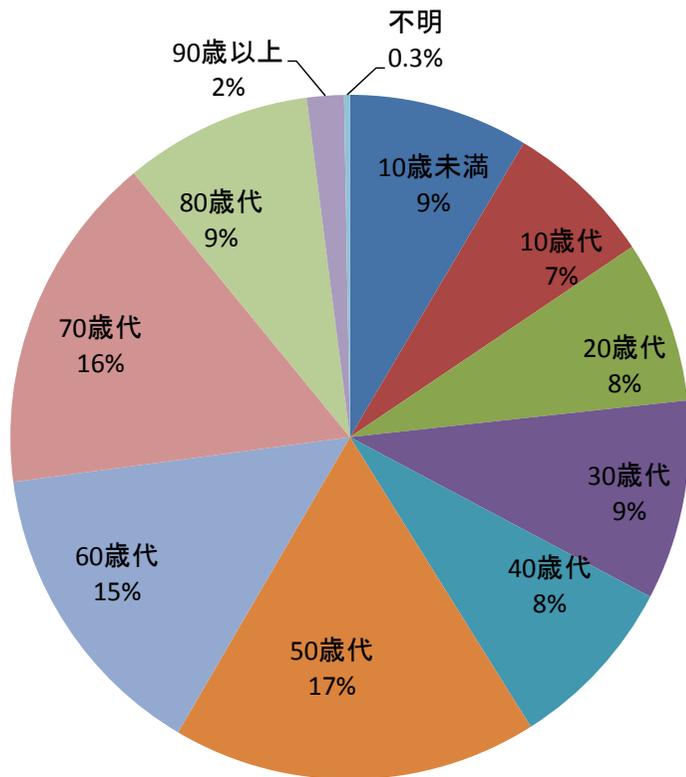
セシウム137初期沈着：100万Bq/m²当り：



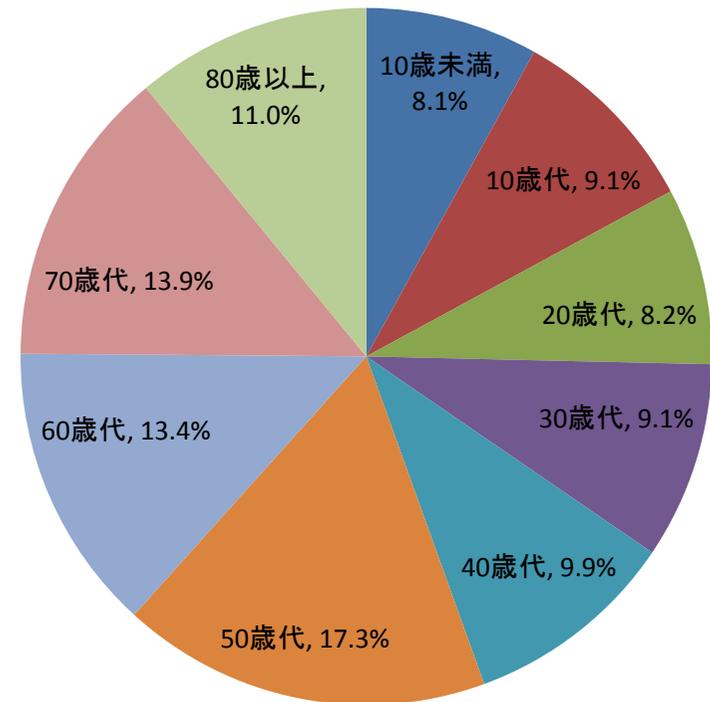
6月30日12:00（107日後）に避難したとし、それまで24時間ずっと野外にいたとして、積算空間線量は32.6ミリシーベルト。

**あとは、
人々の行動パターンさえ分かれば
“それなりの根拠をもって”
個々人の具体的な外部被曝量を
推定できる。**

村民の約3割の方々の 協力が得られた

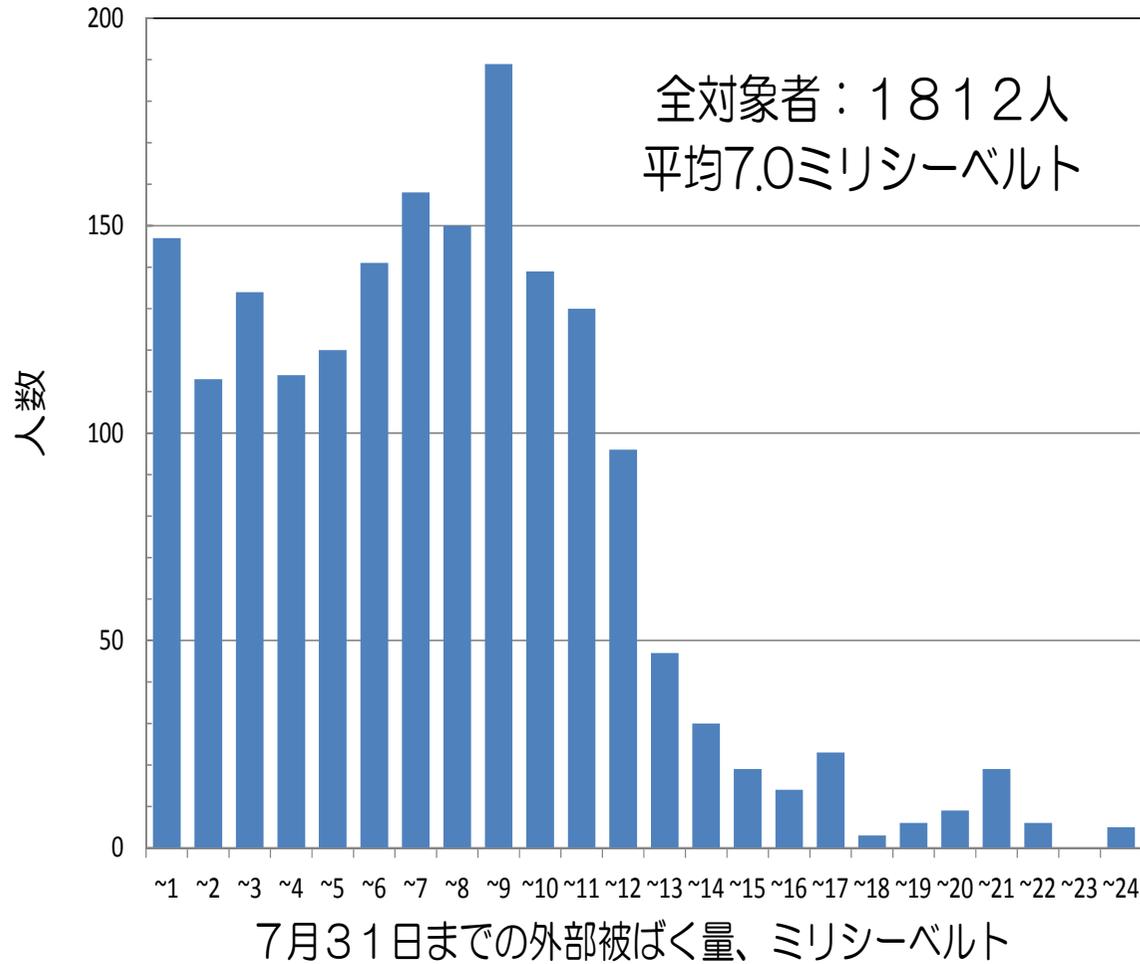


聞き取り1812人の年齢分布



飯舘村全体の年齢分布
(平成23年3月1日：6132人)

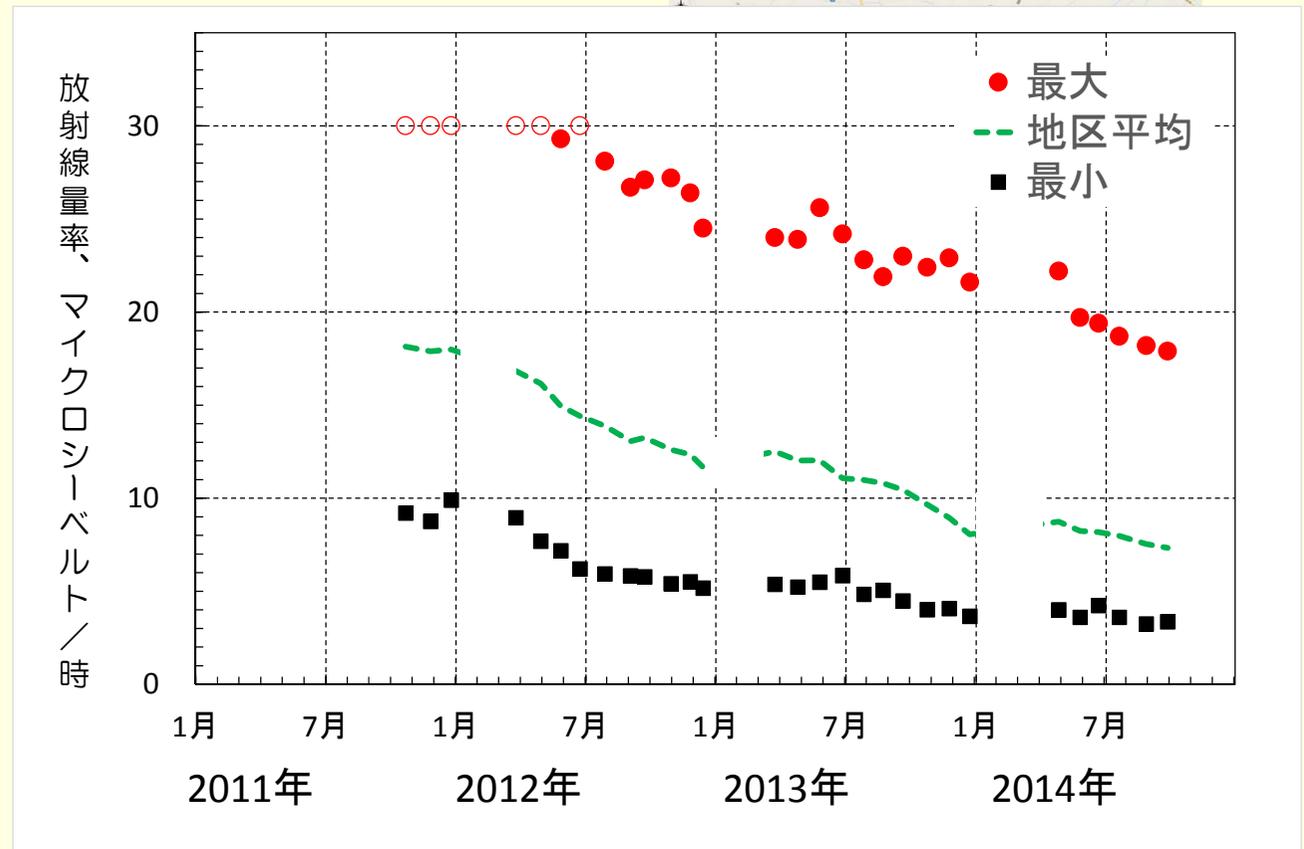
1812人の初期外部被曝量分布



年齢区分別の平均初期外部被曝量

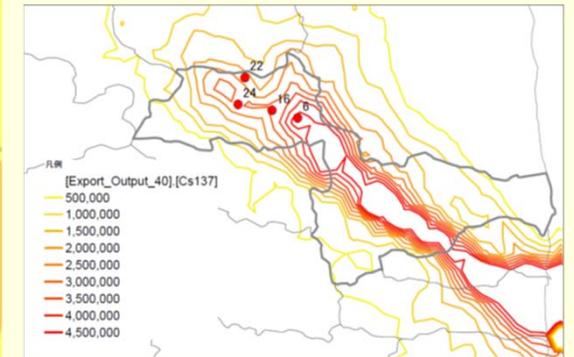
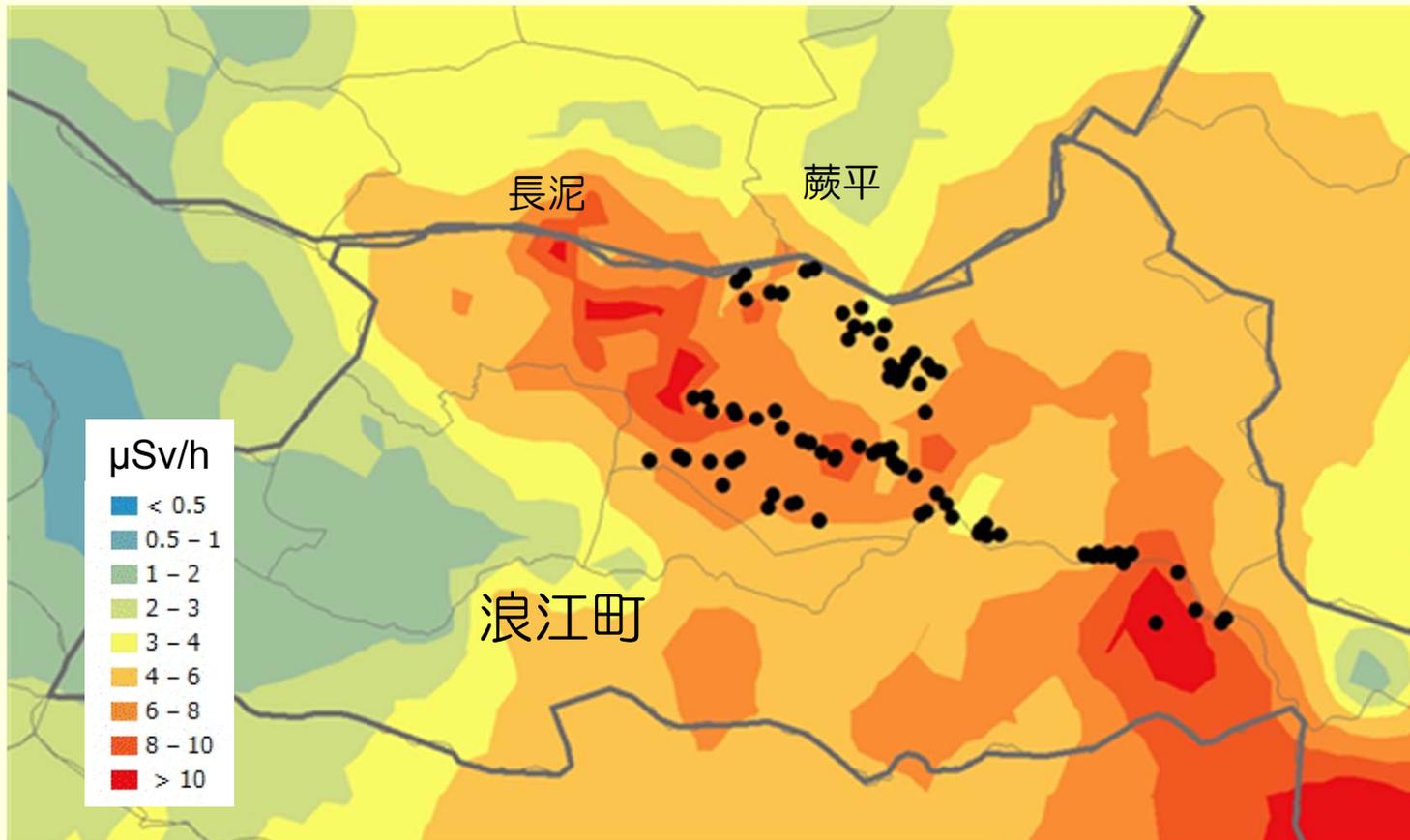
年齢区分	人数	平均初期外部被曝量 ミリシーベルト
10歳未満	155	3.8
10歳代	128	5.1
20歳代	139	6.3
30歳代	171	5.5
40歳代	151	7.6
50歳代	315	8.1
60歳代	262	8.5
70歳代	292	7.5
80歳以上	194	7.3

赤字木地区では2011年夏から地区86戸の放射線量測定を毎月続けてきた



赤字木地区の家の前の空間線量率
(今野さん達の測定データ)

11月1日の赤字木地区調査結果



NNSAデータに基づくセシウム137沈着量分布

走行サーベイ（広島大学グループ）に基づく赤字木周辺の放射線量率。黒丸は赤字木地区86戸の位置。

現在、調査結果をとりまとめ中

初期被曝評価の宿題

放射性ヨウ素の取り込みにととも
なう甲状腺被ばく

放射能フルームからの直接被曝

今年の5月から何にも進んでなくてすみません！

**飯舘村のみな様、福島のみな様
いろいろ有り難うございました！**

これからもよろしく！